

■成田安輝 探検家。日清戦争勃発に、日本政府から目をつけられ、チベットや蒙古方面の情報収集に利用された。

なりたやすてる

禁門の変・・・1864＝ 江戸で、薩摩藩医成田安秩の長男に生まれる。

明治維新・・・1868＝ 4歳：

明治6年政変 1873＝ 9歳：

初の民間工場1875＝11歳：陸軍幼年学校に入学(第1期生)，

西南戦争・・・1877＝13歳：制度改正で、陸軍士官学校に進んだが、

中途退学。

明治14年政変1881＝17歳：

新体詩抄・・・1882＝18歳：

帝国大学始・・・1886＝22歳：_天日製塩法を学ぶため、小笠原諸島に“東洋のロビンソン=クルーソー”田中鶴吉を訪ね、

国民之友始・・・1887＝23歳：さらに学ぼうと、アメリカに渡航、

初の対等条約1888＝24歳：コンプ調査を目的に、アラスカに赴き、その後、ダグラス諸島の鉱山会社で働き、

帝国憲法発布1889＝25歳：

サンフランシスコに移って、日本の植物をアメリカに売る(帝国植物商会)を設立、

大津事件・・・1891＝27歳：

さらに、創業期のユニオン・パシフィック鉄道の保線工事を請負い、移民日本人400人を集めて、アイダホ州の鉄道全線を担当、かなりの収入をあげるうち、

日清戦争始・・・1894＝30歳：

_日清戦争が勃発すると、お国のためになると、帰国し、

日清戦争終・・・1895＝31歳：

*勝利して国威発揚に燃える日本政府から、チベット情報を入手するにふさわしい人物として注目され、

八幡製鉄始・・・1897＝33歳：

外務省が入蔵に関する機密金の支出を決定。

子規句歌革新1898＝34歳：

_語学を学ぶため、十分な資金を与えられて、重慶に入るが、

_やがて、その存在が目立つようになったため、

ピアノ国産化・・・1900＝36歳：

*外務省から、突如帰国命令が出されるも、入蔵の必要性を抗弁、命令は撤回されて、チベット潜行計画続行が決定され、四川省からの入蔵をねらう。寺本のチベット大蔵経入手を知ると、チベットの感情を害するものと批判。

田中正造直訴1901＝37歳：

_外務省に西藏事情概略を送付。四川省からの入蔵を断念し、インドからの入蔵をめざす。“成輝”名の漢人に扮し、沈錫侯とともに、チベットをめざして上海を発ち、インドのカルカッタを経てシッキムへ。チベット人従者のポチョレとともにヤートン(亜東)を出発。ラサに入る。滞在18日間で、ラサを発ち、自身のチベット行を申請するも、却下される。

日比谷公園・・・1903＝39歳：

_帰国すると、ヘディンと河口を例に、小村外相に、当分日本人のチベット行を禁止するよう進言。その後、

日露戦争始・・・1904＝40歳：

*{地学雑誌}の雑録欄に、小川琢治が「成田安輝氏拉薩旅行」として紹介。日露戦争では、ゴビ砂漠を越え、

ウランバートルに入って情報活動に従事し、

日露戦争終・・・1905＝41歳：

伊藤博文暗殺1909＝45歳：

_その後も、東亞義勇軍馬隊に属して前線で活躍するなど、情報員として働き続け、

明治天皇没・・・1912＝48歳：

21ヶ条要求・・・1915＝51歳：

奉天の満鉄病院で、_没した。